



和通小

ニュースレター

NO.5



2019.9.12

【文責 加藤】

2学期 スタート!



2学期が始まりました。夏休みに一回り心も体もたくましく大きく成長した子どもたちから元気をもらい、私たち教員もはりきっています。

9月14日に、「第1回大津っこ未来会議～児童会サミット～」が市役所で開催されます。市内の全小学校が一堂に集まり、各校での取組みを発表する予定です。和通小学校からも6年生2名、5年生2名が発表します。今は、取組をまとめたり発表の練習をしたりと和通小学校の代表として立派に努められるよう頑張っています。次回のニュースレターで当日の様子を報告いたします。

さて、今回は子どもへの声かけの話。

夏休みに、「子どもの可能性を伸ばす 褒め方・叱り方」という題目で講演を聞く機会がありました。心理カウンセラーの中園暁子先生の講演です。少し紹介します。



子どもは、無限の可能性を秘めている。その可能性を引き出すのは声かけである。

「声かけをするには、まず、子どもの話を『聴く』ことが大事である。」と先生はおっしゃっていました。



子どもの話をしっかりと聴くとどんないいことがあるのでしょうか。

- 落ち着きと集中力、根気が身につく
- 想像力を育む
- 思いやりの心、共感する心を育む
- コミュニケーション能力が育つ
- 話す力が備わる
- 読解力や作文の力を伸ばす
- 学力を伸ばすなどの効果があるそうです。

「先生、うちは結構話さいていますよ」という方もいらっしゃると思います。

その「きく」は、「聞く」ですか。「聴く」ですか。

料理しながら話半分に聞く、スマホを見ながらうわのそらで聞く。そんなことはありませんか。

大事なのは「聞く」ではなく「聴く」だそうです。つまり、「傾聴」ということ。これができていたら、花丸です。

「傾聴」つまり、相手と向かい合い、話を丸ごと受け止めて真剣にきくことです。そんなことを言うと、「忙しいのにやられてられないよ。」という声か聞こえてきそうです。私もこの話を聞いた時には、「学級にたくさん子どもがいるなかで、一人ずつ傾聴している時間なんてないよ。」と思いました。しかし、毎回でなくてもよいとのことでした。こそぞ！という時にしっかりと傾聴してあげることが大事だと教えていただきました。ご家庭で考えると、お風呂は一緒に入りその時間だけはこの子の話を丸ごと聞く時間にしようかな。とか、1週間に1度はしっかりと傾聴するようにしよう。など、自分の中で聴く時の時間や頻度をきめて努力することで時間をつくれるのかなと思います。

「**聴く**」と書いて、なんと読むでしょう。なんと、これで「ゆるす」と読むと教えていただきました。聴くことはゆるすこと。だから、子どもも私たち大人も、聴いてもらった時には心がほっとしたり嬉しい気持ちになったり受け入れられたと感じたりするのでね。

「聴く」ができれば次は「質問する」です。

あなたはパートナーからこのように言われたらどう思いますか。

「夕飯できた？」

「昨日肉って言ったやん？」（昨日、夕飯は肉にすると約束していたけれど違うメニューに変えてしまった）

「なんで約束破るん？」

中園先生はこれを言われた時、いい思いをしなかったようです。私もこんな言い方をされたら夕飯を作る気持ちがなくなってしまうなと思っていました。

そのあと、実は、自分も子どもに同じようなことを言っていたことに気づいたということです。

「宿題した？」

「昨日するって言ったよね？」

「なんで約束破るん？」 と。

この話から私も自分を振り返ってみると言っていました。

「宿題持ってきた？」

「昨日持ってくるって言ったよね？」

「なんで持ってこないの？」 と。



「なんで約束やぶるん?」「なんで持ってこないの?」は「質問文」ですが、もはや「質問」ではなく「責め」です。これを言われたらもうあとは何を言っても怒られることは必須です。子どもは、下を向き、答えなくなるでしょう。

「なぜ?」「なんで?」はNGワードです。「責め」を感じさせるからです。では、どんな言葉を使えばいいのでしょうか。

「何?」を使うといいそうです。

「なんで黙ってたん?」→「黙っていた理由は何?」(怒らず責めを感じさせない口調で)

「なんで約束守らへんの?」→「約束守れない理由は何?」(怒らず責めを感じさせない口調で)

「なんで持ってこないの?」→「何か困っていたのかな?」→yes→「何に困っていたの?」(怒らず責めを感じさせない口調で)



もちろんこれも、自分に余裕がないと言えません。毎回はできないでしょう。しかし、少しでも多くこれを使うことで安心して話し、心を開くことができるのです。そしてオープンクエスチョン(Yes, Noで答えられないひらかれた質問)をくり返し自分で行動を選択させていくとのことでした。その時に「その時どんな気持ちだったの?」と自分の気持ちに気づかせる質問が大切であると教えていただきました。

また、質問は、マイナスの質問とプラスの質問、過去の質問と未来の質問に分類できるとのことです。

△【マイナスで過去】・なんで宿題しなかったの? ・約束したよね? ・この前、先生言ったよね?

△【マイナスで未来】・このまま勉強しなかったらどうなるかわかる? ・これからどうなってもいいの?

○【プラスで過去】・調子よかったときはどうしてたん? ・前はOちゃんと何して遊んでいたん?

◎【プラスで未来】・これから本当はどうしたいん? ・次のテスト、何点取ったら気分最高? ・どうなったら楽しい?

心の中にはよい言葉も悪い言葉も蓄積されるそうです。マイナスの質問ばかりされると、体の中にマイナスの言葉がたまってしまいます。時間がたつた後、ふとしたときに自分の心の中の言葉を探そうとすると、たまった言葉の中からしか言葉は見つかりません。プラスの言葉を沢山ためておくと、プラスにがんばる力がわいてきます。マイナスの質問をしてはいけないわけではないですが、最後は、プラスの過去もしくはプラスの未来の質問で終わらしましょう。と教えていただきました。

夏休みは「なるほど、プラスの質問するぞ!」と思っていても、実際2学期が始まり子どもたちと過ごす中で、完璧に実践するのは難しいかもしれません。自分のできる範囲で無理せずよい質問をしていきたいと思った夏休みです。

ここまでが、講演の半分です。また、機会があれば後編をお伝えします。

10月の下校予定

	1日 火	2日 水	3日 木	4日 金
	1年 14:50	全校 14:50	1年・2年 14:50	1年～5年 13:15
2年～6年 15:40	3年～6年 15:40		6年 15:15 前日準備	
7日 月	8日 火	9日 水	10日 木	11日 金
1年～3年 14:35	1年 14:50	全校 14:50	1年・2年 14:50	運動会振替休日
4年～6年 15:25	2年～6年 15:40		3年～6年 15:40	
14日 月	15日 火	16日 水	17日 木	18日 金
体育の日	1年～3年 14:35	全校 14:50	1年・2年 14:50	1年～3年 14:50
	4年～6年 15:40 クラブ活動		3年～6年 15:40	4年～6年 15:40
21日 月	22日 火	23日 水	24日 木	25日 金
1年～3年 14:35	即位礼正殿の儀	全校 14:50	1年・2年 14:50	1年～3年 14:50
4年～6年 15:25			3年～6年 15:40	4年～6年 15:40
28日 月	29日 火	30日 水	31日 木	
1年～3年 14:35	1年 14:50	全校 14:50	1年・2年 14:50	
4年～6年 15:25	2年～6年 15:40		3年～6年 15:40	3年～6年 15:40

- ・4日(金)は、運動会前日準備のため、1～5年は給食後下校します。
- ・5日(土)は、運動会です。予備日は、8日(火)です。
- ・15日(火)は、月曜日課です。

